

適用規格					
定 格	使用温度範囲	-40℃ ～ 85℃	保存温度範囲	-10℃ ～ 50℃（梱包材を含む）	
	電 圧	AC/DC 50 V	使用・保存湿度範囲	相対湿度90%以下（結露しないこと）	
	電 流	0.5 A（全芯数通電する場合は×70%）	適合ケーブル	t=0.3±0.05mm,接触部：金めっき	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電氣的性能	接触抵抗	1 mA（DC 又は 1000 Hz）で測定する。	50 mΩ以下 ※ FPC,FFC 導体抵抗を含む。（L=8mm）	○	○
	絶縁抵抗	DC 100 Vで測定する。	500 MΩ以上	○	○
	耐電圧	AC 150 Vの電圧を1分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○
機械的性能	繰り返し動作	20 回の抜き差しを行う。	① 接触抵抗： 50 mΩ以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐振性	周波数 10 ～ 55 Hz, 片振幅 0.75 mm, 3 軸方向各 10サイクル試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 接触抵抗： 50 mΩ以下	○	—
	衝撃	加速度 981 m/s ² , 持続時間 6 ms, 正弦半波 3軸両方向 各3 回試験する。	③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	F P C 保持力	適合FPCで測定する。（コネクタ、FPC共に 初期。FPC端末厚t=0.3mm）	挿入方向 0.4×n N以上（n:芯数）	○	—
環境的性 能	温度サイクル	温度 -40→+15→+35→+85→+15→+35℃ 時間 30→ 2～3 → 30→ 2～3 分 を 5 サイクル試験する。	① 接触抵抗： 50 mΩ以下 ② 絶縁抵抗： 50 MΩ以上 ③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	定常状態の耐湿性	温度 40±2℃, 湿度 90～95 %中に 96時間放置する。		○	—
	温湿度サイクルの耐湿性	温度 -10～+65℃, 湿度 90～96 %中に 10 サイクル（240 時間）放置する。	① 接触抵抗： 50 mΩ以下 ② 絶縁抵抗： 1 MΩ以上（高湿時） ③ 絶縁抵抗： 50 MΩ以上（乾燥時） ④ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐熱性	温度 85±2℃中 96 時間放置する。	① 接触抵抗： 50 mΩ以下	○	—
	耐寒性	温度 -40±3℃中 96 時間放置する。	② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	塩水噴霧	温度 35±2℃、濃度 5% の塩水噴霧中に 96 時間放置する。	① 接触抵抗： 50 mΩ以下 ② はなはだしい腐食がないこと。	○	—
	二酸化硫黄 [JIS C 60068-2-42]	温度 40±2℃、相対湿度 80±5% 濃度 25±5ppmに 96 時間放置する。		○	—
	硫化水素 [JIS C 60068-2-43]	温度 40±2℃、相対湿度 80±5% 濃度 10～15ppmに 96 時間放置する。		○	—
	はんだ耐熱性	1)リフローの場合 MAX 250℃ (2回迄可) 230℃以上 30秒以内 ﾌﾟﾘｰﾄﾞ 150～200℃ 90～120秒 2)手はんだの場合 350±10℃ 5±1秒間	外観の変形及び端子などに著しい ガタがないこと。	○	—
	はんだ付け性	はんだ温度 235±5℃, 浸せき時間 2±0.5 秒間のはんだ付けを行う。	はんだ浸せき面の 95 %以上が 新しいはんだでぬれていること。	○	—
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
△					
備考			承認	NF. MIYAZAKI	17.03.01
試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512(対応規格 JIS C 5402)を適用している。			検 図	FN. TAMURA	17.03.01
			担 当	RT. IKEDA	17.03.01
			製 図	RK. OGASAWARA	17.03.01
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目		図番	SLC-375800-00-00		
HRS	製品規格表		製品名	FH12-**S-0.5SVA(98)	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL586	△ 1/1